

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 R8年3月19日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	1	お子さまの活動内容（学習・食事・集団活動・個別活動等）に応じてスペースを使い分けています。利用人数やお子さまの状況に応じて配置を調整し、安心して過ごせる環境づくりを行っています。	時間帯や活動内容によってはスペースが手狭に感じられることがありますが、家具配置や空間の使い方を見直しより過ごしやすい環境づくりに努めています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	2	職員同士の連携によりイレギュラーへの柔軟な対応もできる体制を整えています。	職員配置は適切に行っていますが、お子さまの状況や支援量に応じて役割分担をより明確にし、チームとしての支援体制の質の向上を図ります。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1	療育専用の建物ではないが、工夫し、部屋の用途分けがされています。視覚的表示などをさらにすすめるなど、バリアフリー面に改善の余地があると捉えています。	視覚的な表示やスペースの使用ルールなど不十分な部分があります。誰にとってもわかりやすい環境整備を進めていきます。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	1	清掃や消毒を毎日行っています。嘔吐後や失禁時の対応をさらに徹底したほうが良いと考えています。	環境面や衛生管理には留意していますが、感染症対応・対策や体調不良時の対応について、より具体的な手順を共有し、衛生管理体制を強化していきます。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	お子さまの特性など必要に応じて部屋の使い分けを行っています。	状況に応じた柔軟な空間調整が必要な場面があります。継続して、スペース活用の工夫を行っていきます。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	1	ミーティングを行い、また、LINEなどの連絡ツールを使用して情報共有などを行っています。	情報共有のしつこいもの、統一や周知を統一していく必要があると考えています。PDCAサイクルの運用をより明確にしています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	保護者さまからの評価やご意見を把握し、業務改善につなげています。	評価結果の共有や活用が十分ではない部分があります。評価結果について職員間で共有する機会を設け、改善事項を明確にします。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	ミーティングでの意見交換が活発になされています。いろいろなツールを使っての情報共有ができています。	職員の意見を業務改善に反映する仕組みをより明確にして、継続的な改善につなげていきます。今後も意見をだしやすい環境づくりを進めます。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	4	第三者評価の制度などについて情報共有を行っています。	第三者評価制度について理解を深めることができるように、勉強会を企画します。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	研修機会があり、その内容が共有されています。資格取得やスキルアップへの支援がなされています。	外部研修への積極的な参加を継続しながら、研修内容の共有や実践への活用をさらに進めていきます。	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	支援プログラムは作成され、ホームページ上で公表しています。	支援プログラムについて職員間で定期的に確認し、共通理解を深めるための確認機会を増やしていきます。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	1	作成された計画はスタッフ間で確認し、わからない点は確認しながら支援に活かしています。	線計画の理解や活用などに差がある場合があります。アセスメント内容や支援計画について職員間で読み合わせや共有を強化していきます。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	職員間で意見交換を行い、検討しています。共通理解のもと支援を進めるように努めています。	支援計画作成時の検討内容を職員全体で共有する機会を増やしていきます。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	計画内容を職員間で共有し、共通認識のもと支援を行うように努めています。	支援計画の内容について定期的に確認し、計画に沿った支援を継続します。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1	日々の活動記録など、お子さまの状況把握に努めています。活動前には、記録内容を職員間で共有しています。	記録方法の統一や活用方法について職員間で共有し、支援改善につなげていきます。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	1	ガイドラインに基づいた支援を行っています。本人支援を中心に支援を行っており、地域支援や家族支援につながっていると考えています。	家族支援や地域連携への意識に差がある場合があります。支援の視点を広げ、地域支援や家族支援との連携についても意識し支援の充実を図っていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1	活動プログラムは職員全体で取り組み立案しています。	活動プログラムについての意見交換を継続し、多様な活動を提供できるように努めています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	1	担当制で計画・進行を行っており固定化を防げていると考えています。	活動の固定化を防ぐため、活動内容の見直しや新しい取り組みを導入するなどに努めています。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	個別活動と集団活動が組み合わせられ、毎回提供されています。お子さまの状況に応じた支援を行っています。	個別活動と集団活動を組み合わせた支援の充実を心掛けています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	支援前に職員間での打ち合わせを行っています。指導案によって、役割分担や活動内容の確認を行っています。	支援前の打合せは今後も継続し、役割分担や支援内容の共有をより明確にできるように努めています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	1	その日の支援について共有し、次の支援につなげています。	支援後の振り返りを継続していきます。勤務時間の違いによる情報共有不足を防ぐ仕組みを整備していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	職員が固定されることなく記録にかかわっています。見方や捉え方などいろいろな視点で検証できています。	記録内容は個々で確認を行っています。今後も支援の検証と改善につなげていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	2	定期的なモニタリングや検証を行っています。	計画的な実施と管理体制の強化を図っていきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	9	0		ガイドラインに基づいた支援内容の確認と充実を継続していきます。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	1	自己決定を尊重していますが、特性や状況に応じて判対応しています。	お子さまの自己決定を尊重しつつ、状況に応じた支援方法の工夫を継続していきます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0		関係機関との連携を継続していきます。全職員が会議への参加ができるように、個々のスキルアップを充実させて行きます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0		いろいろな関係機関との情報共有を継続し、連携体制の充実を図っていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0	学校との基本的な連携はできています。さらに連携を強めていきたいと考えています。	学校との情報共有を継続し、信頼関係の構築に努めていきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	0		就学前施設との情報共有を継続し、お子さまの支援が途切れることがないように努めています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	0		移行支援時には、積極的に担当者会議に参加し支援内容の引継ぎを丁寧に行うようにしています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9	0		地域の児童発達支援事業所とは、良好な関係を保っています。必要に応じて助言を受けながら支援を行うようにしています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	4	5	公園等で地域の子どもたちとの交流があります。意図的な交流会などを計画していきます。	地域交流の機会について、季節のイベントなど企画を充実していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	1		協議会等の活動について、勉強会を行い理解を深めていきます。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	送迎時などの日常的なやり取りや保護者会の実施などでの関係づくりに努め、共通理解ができていると考えています。	保護者さまとの情報共有を継続し、さらに丁寧な連携を目指してまいります。

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	2		職員の対応や理解について差があるとの見方がありました。家族支援について必要に応じた情報提供や支援の充実を図っていきます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0		契約時に運営内容の説明を行っています。引き続き丁寧な説明を行います。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	職員は個別の支援内容を報告し、児発管が全体調整を行っています。	今後も保護者さまの意向確認を大切にしてまいります。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0		計画と支援内容のつながりをご理解いただけるように今後も努めてまいります。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0		保護者さまからの相談に対し、引き続き丁寧な対応を行います。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	1	感染症の影響で中止したこともありましたが、保護者会を企画しています。	保護者さま同士の交流機会についてだけでなく、ごきょうだい同士の交流する機会も考えてまいります。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	その場で対応できることは、職員が対応しております。難しい場合には管理者が対応しており、迅速な対応を心掛けています。	いただいたご意見は職員間で検討し、改善につなげております。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	0	MIRAIEだよりの発行（毎月）やInstagramで活動内容を発信しています。	毎月のお便りやInstagram等による情報発信の充実を図り見える化を進めています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	個人情報の取り扱いには十分注意をしており、漏洩などに適切に対処しています。	個人情報の取り扱いについて、関係法令を遵守し、職員への周知と管理を行っています。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0		保護者さまとの意思疎通や情報伝達について継続し、信頼関係の維持に努めていきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	3		バザーなどでの交流を定期的に行い、地域に開かれた事業所運営を強化していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	2		各種マニュアルの周知を強化するため、定期的な読み合わせや理解の確認を行っています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	1		お子さま向けの避難訓練に加えて、BCPや避難訓練について職員向け訓練の充実を図ってまいります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	1		服薬、医療情報を積極的に集約し、職員間で共有できるように努めていきます。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0		現在、食物アレルギー対応が必要なお子さまのご利用はありませんが、今後も柔軟に対応してまいります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	非常時訓練に加えて、乳児・幼児の救命講習への参加など、外部研修にも積極的に参加しています。	安全計画に基づいた研修や訓練、点検を継続してまいります。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0		定期的に、保護者様へ発信し、安全計画についてのご理解や周知に取り組んでまいります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	気が付いた案件は速やかに記録し、全職員への周知に努めています。	ヒヤリハットの共有によってリスクに対する意識の向上に取り組んでいます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	1		虐待防止研修について全職員が参加できる体制づくりを継続してまいります。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0	状況に応じて、保護者さまへの連絡やご協力を仰ぎながら拘束の事例がないように留意しています。	保護者さまとの連携を密にしながら、身体拘束を行わない支援を継続してまいります。